

環境活動レポート

《活動期間 平成28年3月1日～平成29年2月28日》



更新日 平成29年8月30日

第7版作成日 平成29年8月25日

川根インダストリー株式会社

【 環 境 方 針 】

*環境理念

川根インダストリー(株)は、深緑と清流に包まれた山間地にあり、自然な恵みを生かし安心・安全なお茶に関連する商品をご提供することを誓います。
また、製造を通じて全社員が自覚と責任をもち、環境保全の推進・改善を図り食文化の発展にチャレンジしていきます。

*行動指針

1. 電力・燃料(ガソリン、ガス、灯油等)の省エネルギーによる二酸化炭素排出量の削減に努めます。
2. 食品廃棄物の削減、再使用、再生利用(3R)を推進します。
3. 水の使用量の削減に努めます。
4. 環境に配慮した資材の購入を進んで取り組みます。
5. 環境にやさしい製品作りを進めてまいります。
6. 事業活動に当り、環境関連法規等を遵守します。
7. 社員一人ひとりが環境活動の重要性を理解し行動し、社会とのコミュニケーションに努めます。

制定 平成21年9月1日

改定 平成25年3月1日

川根インダストリー株式会社
代表取締役 桜下昌市 印

【 事 業 の 概 要 】

1. 事業所名

川根インダストリー株式会社 本社・川根工場 牧之原工場 本部工場

2. 所在地

《本社・川根工場》

〒428-0414 静岡県榛原郡川根本町東藤川2026-1

TEL 0547-59-2111 FAX 0547-59-3319

《牧之原工場》

〒421-0411 静岡県牧之原市坂口2090-25

TEL 0548-29-1975 FAX 0548-29-1976

《本部工場》

〒421-0501 静岡県牧之原市東萩間1942-15

TEL 0548-27-1020 FAX 0548-27-1021

3. 代表者氏名 桜下昌市

4. 環境管理責任者氏名及び担当者氏名

環境管理責任者：長嶋利次 担当者：事務局 桜下泰子

5. 沿革 昭和39年 川根産業(株)として創業

平成 2年 川根産業(株)から川根インダストリー(株)に社名変更

平成10年 緑茶特殊粉碎・ティーバック包装加工業開始

平成24年 牧之原工場 増設

平成26年 会社設立から50周年を迎えました

平成26年 本部工場 増設

6. 資本金 2,000万円

7. 従業員数 72名 (社員：46人 パート：26人) 《H29.3.1時点》

8. 床面積 5, 245㎡ (本社 1,450㎡ 牧之原 495㎡ 本部 3,300㎡)

9. 事業内容 : 茶関連製品加工製造業 緑茶・玄米茶・紅茶等、粉碎及び各種個包装 : 太陽光発電事業(売電) 牧之原工場・本部工場

10. 資格・認定 オーガニック農産物加工食品製造業者認定工場 (平成13年) 本社・川根工場

オーガニック農産物加工食品製造業者認定工場 (平成29年) 本部工場拡大

ミニHACCP承認工場 (平成19年)

エコアクション21認証 (平成22年8月24日)

11. 主要取引先

株式会社伊藤園

佐々木製茶株式会社

カネ松製茶株式会社

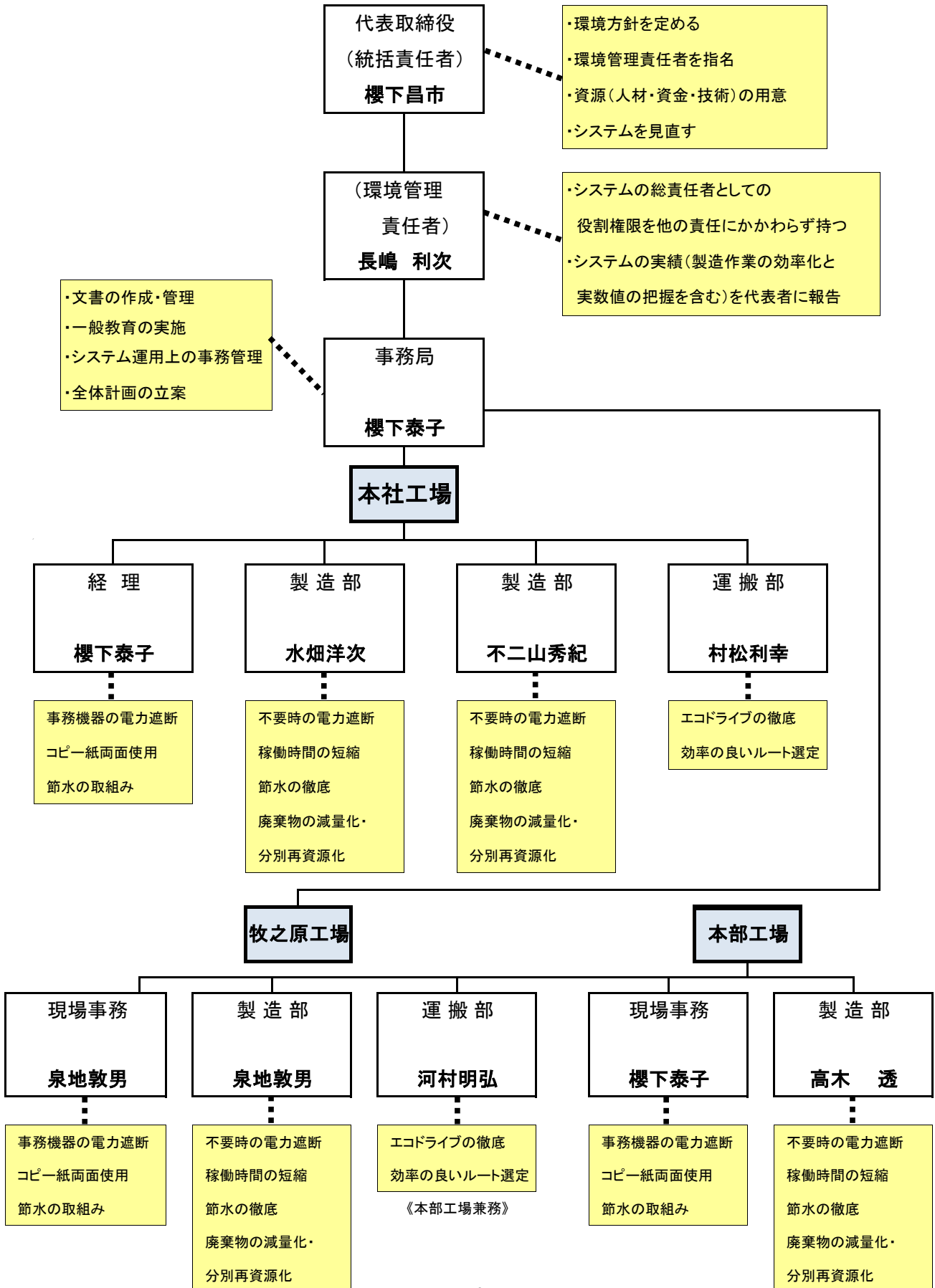
株式会社山本山

株式会社国太楼

丸紅食料株式会社

【 組織図及び実施体制 】

平成21年9月1日 制定
平成29年3月1日 改定6



【 中期環境目標 】

《川根・本社工場》

* 基準値は平成28年度実績

《平成29年 ~ 平成31年》

項 目		単位	平成29年度 目標		平成30年度 目標		平成31年度 目標	
二酸化炭素排出量		kg-CO2	-1%	78,404.0	-2%	77,612.0	-3%	76,820.0
排出量 二酸化炭素	購入電力	kWh	-1%	77,766.5	-2%	76,988.9	-3%	76,195.0
	ガソリン使用量	l	-1%	3,722.5	-2%	3,685.3	-3%	3,674.3
	軽油使用量	l	-1%	12,064.6	-2%	11,942.8	-3%	118,209.1
	灯油使用量	l	-1%	247.5	-2%	245.0	-3%	242.5
廃棄物(茶粉)再生利用率		%		100.0		100.0		100.0
産業廃棄物排出量		t	-1%	0.90	-2%	0.90	-3%	0.90
水排出量		m ³	-1%	148.5	-2%	147.0	-3%	145.5
グリーン購入		件		1.0		1.0		1.0
環境配慮活動		件		2.0		2.0		2.0

* 購入電力のCO2排出係数は、0.482kg-CO2/kWhを使用。 (中部電力の平成27年度実績)

【環境への取組の結果と評価】

《本社・川根工場》

平成28年度実績

期間:平成28年3月~平成29年2月

項 目	単位	(平成28年度)《A》	(平成28年度)《B》	$\frac{B}{A} \times 100$	達成度	
		目標	実績			
二酸化炭素排出量		kg-CO2	79,468.7	79,196.0	99.7	◎
排出量 二酸化炭素	購入電力	kWh	79,004.0	78,552.0	99.4	◎
	ガソリン使用量	l	5,594.1	3,760.1	67.2	◎
	軽油使用量	l	9,733.9	12,186.5	125.2	○
	灯油使用量	l	163.4	250.0	153.0	×
廃棄物(茶粉)再生利用率		%	100.0	100.0	100.0	◎
産業廃棄物排出量		t	5.1	0.9	17.3	◎
水排出量		m ³	190.0	150.0	78.9	◎
グリーン購入		件	2.0	1.0	50.0	○
環境配慮活動		件	2.0	2.0	100.0	○

* 購入電力のCO2排出係数は、0.482kg-CO2/kWhを使用。 (中部電力の平成27年度実績)

達成度…… ◎:100%以下の時 ○:100~120%の時 △:120~130%の時 ×:130%以上

【 中期環境目標 】

《牧之原工場》

* 基準値は平成28年度実績

《平成29年 ~ 平成31年》

項 目	単位	平成29年度 目標		平成30年度 目標		平成31年度 目標		
二酸化炭素排出量	kg-CO2	-1%	47,457.2	-2%	47,004.3	-3%	46,498.5	
排出量 二酸化炭素	購入電力	kWh	-1%	50,460.3	-2%	49,950.6	-3%	49,440.9
	ガソリン使用量	l	-1%	3,310.2	-2%	3,276.7	-3%	3,243.3
	軽油使用量	l	-1%	5,073.2	-2%	5,021.9	-3%	4,970.7
					-2%		-3%	
廃棄物(茶粉)再生利用率	%							
産業廃棄物排出量	t	-1%		-2%		-3%		
水排出量	m ³	-1%	125.8	-2%	124.5	-3%	123.2	
グリーン購入	件							
環境配慮活動	件							

* 購入電力のCO2排出係数は、0.482kg-CO2/kWhを使用。 (中部電力の平成27年度実績)

【環境への取組の結果と評価】

《牧之原工場》

平成28年度実績 期間:平成28年3月~平成29年2月

項 目	単位	(平成27年度)《A》	(平成28年度)《B》	$\frac{B}{A} \times 100$	達成度	
		目標	実績			
二酸化炭素排出量	kg-CO2	46,782.0	47,963.6	102.5	○	
排出量 二酸化炭素	購入電力	kWh	49,004.0	50,970.0	104.0	○
	ガソリン使用量	l	3,368.9	3,343.6	99.2	◎
	軽油使用量	l	5,265.8	5,124.4	97.3	◎
廃棄物(茶粉)再生利用率	%	100.0	100.0	100.0	◎	
産業廃棄物排出量	t	0.0	0.00			
水排出量	m ³	130.7	127.0	97.2	◎	
グリーン購入	件	1.0	1.0	100.0	○	
環境配慮活動	件	1.0	1.0	100.0	○	

* 購入電力のCO2排出係数は、0.482kg-CO2/kWhを使用。 (中部電力の平成27年度実績)

達成度…… ◎:100%以下の時 ○:100~120%の時 △:120~130%の時 ×:130%以上

【 中期環境目標 】

《本部工場》

* 基準値は平成28年度実績

《平成29年 ~ 平成31年》

項目	単位	平成29年度 目標	平成30年度 目標	平成31年度 目標			
二酸化炭素排出量	kg-CO2	96,531.0	-2%	95,565.7	-3%	94,610.1	
排出量 二酸化炭素	購入電力	kWh	177,202.1	-2%	175,430.1	-3%	173,675.8
	ガソリン使用量	l	2,423.7	-2%	2,399.5	-3%	2,375.6
	軽油使用量	l	448.0	-2%	443.6	-3%	439.2
				-2%		-3%	
	%						
産業廃棄物排出量	t	1.00	-2%	0.90	-3%	0.80	
水排出量	m ³	165.4	-2%	163.8	-3%	162.2	
グリーン購入	件	1.0		1.0		1.0	
環境配慮活動	件	1.0		1.0		1.0	

* 購入電力のCO2排出係数は、0.482kg-CO2/kWhを使用。 (中部電力の平成27年度実績)

【環境への取組の結果と評価】

《本部工場》

平成28年度実績 期間:平成28年3月~平成29年2月

項目	単位	(平成28年度)《A》	(平成28年度)《B》	B/A × 100	達成度	
		目標	実績			
二酸化炭素排出量	kg-CO2	76,994.3	97,506.6	126.6	△	
排出量 二酸化炭素	購入電力	kWh	128,272.0	178,992.0	139.5	△
	ガソリン使用量	l	2,693.9	2,448.1	90.9	◎
	軽油使用量	l	494.0	452.5	91.6	◎
	%					
産業廃棄物排出量	t	1.35		0.0	◎	
水排出量	m ³	145.0	167.0	115.2	○	
グリーン購入	件	1.0	1.0	100.0	○	
環境配慮活動	件	1.0	1.0	0.0	○	

* 購入電力のCO2排出係数は、0.482kg-CO2/kWhを使用。 (中部電力の平成27年度実績)

達成度…… ◎:100%以下の時 ○:100~120%の時 △:120~130%の時 ×:130%以上

《本社・川根工場》

評 価	
二酸化炭素	目標達成。
購入電力	目標達成。引き続き電力削減に努めて行きたいと思います。
水排出量	目標達成。引き続き節水に努めて行きたいと思います。
ガソリン使用量	目標達成。効率の良いルートでの効果が出たと思われます。
軽油使用量	目標達成。効率の良いルートでの効果が出たと思われます。
灯油使用量	目標達成とはいきませんでしたので、今後は削減に努めて行きたいと思います。
廃棄物(茶粉)再生利用率	肥料としての再利用、茶粉を使いお茶の特性を生かした商品作りを検討したいと思います。
グリーン購入	コピー用紙は再生紙、ボールペン・マジックの替え芯購入しました。
環境配慮活動	ペットボトルキャップの回収に協力致しました。
産業廃棄物排出量	目標達成。引き続き廃棄物削減に心掛けたいと思います。

《牧之原工場》

評 価	
二酸化炭素	目標達成。
購入電力	目標達成。引き続き電力削減に努めて行きたいと思います。
水排出量	目標達成。引き続き節水に努めて行きたいと思います。
ガソリン使用量	目標達成。効率の良いルートでの効果が出たと思われます。
軽油使用量	目標達成。効率の良いルートでの効果が出たと思われます。
灯油使用量	灯油は使用することなく、二酸化炭素の排出はありませんでした。
グリーン購入	コピー用紙は再生紙、ボールペン・マジックの替え芯購入しました。
環境配慮事業	太陽光の導入により、49331kWh/年 CO2換算25.3tの削減相当となりました。

《本部工場》

評 価	
二酸化炭素	目標達成とはいきませんでしたので、今後は削減に努めて行きたいと思います。
購入電力	目標達成とはいきませんでしたので、今後は削減に努めて行きたいと思います。
水排出量	目標達成。引き続き節水に努めて行きたいと思います。
ガソリン使用量	数名が別工場へ会議等回数が増えガソリン代増えたと考えられます。
軽油使用量	目標達成。効率の良いルートでの効果が出たと思われます。
灯油使用量	灯油は使用することなく、二酸化炭素の排出はありませんでした。
廃棄物(茶粉)再生利用率	肥料としての再利用、茶粉を使いお茶の特性を生かした商品作りを検討したいと思います。
グリーン購入	コピー用紙は再生紙、ボールペン・マジックの替え芯購入しました。
環境配慮事業	太陽光の導入により、58191kWh/年 CO2換算29.9tの削減相当となりました。

《平成28年度》

本社・川根工場

1. 電力の削減

取組内容	担当月	3月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～1月
各部屋の不在時の消灯 《ラベルを新表示による呼びかけ》	全員	←	実施	→	
			見直・指導		
機械不要時の電力の遮断 《ラベルの表示による呼びかけ》	水畑	←	実施	→	
			見直・指導		
パソコン等OA機器未使用時電源OFF 《ラベルの表示による呼びかけ》	川畑	←	実施	→	
			見直・指導		

2. 化石燃料の削減

取組内容	担当月	3月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～1月
エコドライブの徹底 《アイドリングを減らし、効率の良いルートの徹底》	村松	←	実施	→	
			見直・指導		

3. 一般廃棄物の削減

取組内容	担当月	3月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～1月
廃棄物の分別の徹底 《不燃物・紙・ナイロン・PPバンドの分別化の徹底》	全員	←	実施	→	
			見直・指導		
茶粉の再利用 《再利用できるか検討》	不二山 水畑	←	実施	→	
			見直・指導		

4. 水使用量の削減

取組内容	担当月	3月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～1月
節水の推進・漏水の点検 《ラベルの表示による呼びかけ・節水調整》	川畑	←	実施	→	
			見直・指導		

5. 社員教育

取組内容	担当月	3月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～1月
社員の意識向上・教育 《月に一度全体会議》	水畑	←	実施	→	

【 環 境 活 動 計 画 】

《平成28年度》

牧之原工場

1. 電力の削減

取 組 内 容	担当 月	3月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～1月
各部屋の不在時の消灯 《ラベルを新表示による呼びかけ》	全員	←	実施	→	
			見直・指導		
機械不要時の電力の遮断 《ラベルの表示による呼びかけ》	泉地	←	実施	→	
			見直・指導		
パソコン等OA機器未使用時電源OFF 《ラベルの表示による呼びかけ》	泉地	←	実施	→	
			見直・指導		

2. 化石燃料の削減

取 組 内 容	担当 月	3月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～1月
エコドライブの徹底 《アイドリングを減らし、効率の良いルートの徹底》	河村	←	実施	→	
			見直・指導		

3. 一般廃棄物の削減

取 組 内 容	担当 月	3月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～1月
廃棄物の分別の徹底 《不燃物・紙・ナイロン・PPハットの分別化の徹底》	全員	←	実施	→	
			見直・指導		

4. 水使用量の削減

取 組 内 容	担当 月	3月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～1月
節水の推進・漏水の点検 《ラベルの表示による呼びかけ・節水調整》	泉地	←	実施	→	
			見直・指導		

5. 社員教育

取 組 内 容	担当 月	3月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～1月
社員の意識向上・教育 《月に一度全体会議》	水畑	←	実施	→	

【 環 境 活 動 計 画 】

《平成28年度》

本部工場

1. 電力の削減

取 組 内 容	担当 月	3月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～1月
各部屋の不在時の消灯 《ラベルを新表示による呼びかけ》	全員	←	実施	→	
			見直・指導		
機械不要時の電力の遮断 《ラベルの表示による呼びかけ》	高木	←	実施	→	
			見直・指導		
パソコン等OA機器未使用時電源OFF 《ラベルの表示による呼びかけ》	長嶋	←	実施	→	
			見直・指導		

2. 化石燃料の削減

取 組 内 容	担当 月	3月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～1月
エコドライブの徹底 《アイドリングを減らし、効率の良いルートの徹底》	長嶋	←	実施	→	
			見直・指導		

3. 一般廃棄物の削減

取 組 内 容	担当 月	3月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～1月
廃棄物の分別の徹底 《不燃物・紙・ナイロン・PPハットの分別化の徹底》	全員	←	実施	→	
			見直・指導		

4. 水使用量の削減

取 組 内 容	担当 月	3月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～1月
節水の推進・漏水の点検 《ラベルの表示による呼びかけ・節水調整》	櫻下	←	実施	→	
			見直・指導		

5. 社員教育

取 組 内 容	担当 月	3月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～1月
社員の意識向上・教育 《月に一度全体会議》	高木	←	実施	→	

《電力の削減》

(全工場)

* 不要時の消灯



* 機械不要時の電力の遮断



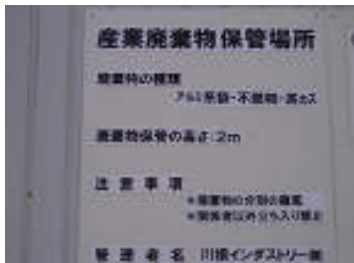
* パソコン等機器の、未使用时電力オフ



《産業廃棄物排出量の削減・リサイクルの推進》

* 廃棄物の分別化の徹底

《食品リサイクル対象》



* コピー用紙再利用
裏面使用



《水使用量の削減》

* 節水の徹底



《グリーン購入》

* 再生紙・ 購入

コピー用紙
《再生紙》

ボールペン・マジック
《替芯》

《環境配慮活動》

* エコキャップ回収



【 取組状況と結果の評価と今後の取組 】

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組内容	内 容	評価と次年度の取組内容	
電力の削減	各部屋の不在時の消灯	○	不在時の電源OFFはかなり徹底出来たと思います。 今後も引き続き継続します。
	機械不要時の電力の遮断	○	不要時の電源OFFはかなり徹底出来たと思います。 今後も引き続き継続します。
	パソコン等OA機器未使用時電源OFF	○	未使用時電源OFFは徹底出来たと思います。 今後も引き続き継続します。
	エアコン設定温度の徹底	△	設定温度を定め、徹底に心掛けましたが 製造工程上設定温度の徹底は厳しいものがあります。
化石燃料の削減	エコドライブ・効率の良いルートの徹底	○	納品日に応じて複数台による納品を行っていたが、 円滑なルート把握により納品台数を減少することが できたと思います。今後も引き続き継続します。
	効率の良いルートでの運転業務	◎	納品・引取りを同時に運転業務の徹底に心掛けた。 今後も引き続き継続します。
一般廃棄物の削減	商品返品・不良品の削減	◎	ロットアウト・不良もなく廃棄処分はありませんでした。 今後も引き続き継続します。
	コピー用紙両面印刷	◎	FAXでの宣伝等の用紙は、社内使用で裏面コピー 今後も引き続き継続します。
	廃棄物の分別の徹底	◎	分別はかなり徹底出来ています 今後も引き続き継続します。
	廃棄物の削減	◎	去年は木製パレット廃棄が多数ありましたが、 今回は廃棄物も減り
	茶粉の再利用	◎	粉茶は近隣農家からの依頼がなく全て廃棄処分となり 今後は再利用を検討します。
水使用量の削減	トイレの節水	◎	トイレ節水リングより節水出来たと思われます。 今後も引き続き継続します。
グリーン購入	コピー紙・ペーパー等再生紙等切り替え	◎	「気づかいマーク」付商品・替え芯の購入 今後も引き続き継続します。
環境配慮事業	ペットボトルキャップ回収 工場近隣道路の清掃	◎	ペットボトルキャップ回収しました 今後も引き続き継続します。
太陽光発電事業	牧之原工場 49331kWh/年 本部工場 58191kWh/年	◎	CO2換算 牧之原 25.3t 本部 29.9t の削減相当 今後も維持管理をしていきたいと思っています。
社員教育	月に一度、全体会議	◎	社員教育・勉強会を実施しました。 今後も引き続き継続します。

【環境関連法規への違反、訴訟等の有無】

1. 環境関連法規の遵守状況(平成29年8月1日確認)

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

適用される法規制	適用詳細	遵守状況
廃棄物処理法	産業廃棄物処理委託契約書の締結・作成・保管	○
	マニフェストの発行、A・B2・D・E票を保管(5年間)	○
	マニフェスト交付状況報告(前年度分毎年6月末報告)	○
	産業廃棄物の保管・積替の場所に掲示板を設ける	○
静岡県産業廃棄物条例	産業廃棄物の管理責任者の設置	○
	産業廃棄物の委託先の実地確認(年1回)とその記録の保存(5年間)	○
食品衛生法	製品の義務表示事項の遵守	○
消防法	火災報知機の設置	○
循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	○
食品リサイクル法	食品関連事業者:食品廃棄物等多量発生事業者(100t/y以上)には該当しない。食品廃棄物等発生抑制及び再生利用、熱回収、減量(脱水、乾燥)の促進に努める	食品リサイクル率 100% 達成
グリーン購入法	エコマーク製品の購入(コピー用紙・文具)	○
自動車リサイクル法	廃車処分時	該当なし
浄化槽法	清掃と点検、年1回の水質検査	○
フロン類排出抑制法	フロンガス漏洩点検の義務付け(簡易・定期)	○
容器包装リサイクル法	ダンボール・アルミ缶等の再使用及び再生利用	○
騒音規制法	コンプレッサー・室外機設備の届出	○

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの違反・指摘及び利害関係者からの訴訟等は過去3年間ありませんでした。

【代表者による全体評価と見直し】

エコアクション21に取り組み7年が経ちました。

昨年度より新たに本部工場を追加し、全社員一丸となって取り組んでまいりました。

ダンボールの買取にさせていただくことにより、従業員の紙資源分別の意識が高まり
これは、従業員にエコアクションの活動が浸透してきているように感じております。

今後も引き続き、細かく実施していく予定ですが、それに従って現場で見つける
無理・ムラ・無駄を排除する改善提案を積極的に取り入れ、少しでも環境負荷の少ない
会社を目指して行かなくてはならないと思います。

牧之原工場、本部工場に導入した太陽光発電については、年間合わせて約55tの
CO2抑制量削減に相当する成果となりました。

今年は茶粉の近隣農家による肥料としての再利用はなくなりましたが、中間処理業者を通して
肥料の再利用への転換が出来ました。

今後も、この廃棄する茶粉を再利用して肥料以外の新たな商品開発を目指し、食品リサイクル率100%
達成に取り組んでいきたいと思っております。

平成29年 8月 25日

川根インダストリー株式会社

代表取締役 桜下昌市 ㊞